

テーマ：『 個に応じた指導の充実のため、IT技術を活用した指導方法の開発 』

横浜市立 樽町中学校

Tel. 045-542-8779

担 当 石田 智和

者：



■実践内容：

○ 少人数指導や習熟度別指導を取り入れた学習内容及び指導計画

1年の物理分野で行った実践を踏まえた少人数指導や習熟度別指導などを組み合わせた学習

○ 生徒一人ひとりの個性を活かした観察・実験レポートの作成

上質紙B4一枚によるレポートの作成を通して、生徒一人ひとりの表現力を引き出す工夫と個に応じた教材の開発

以上の2点を中心に研究・実践を行った。授業実践の内容は、

1年 音による不思議な現象 『 音の正体と伝わり方 』

2年 生命を維持するはたらき 『 だ液のはたらきを調べよう 』

3年 生物のふえ方 『 動物の有性生殖 』

である。

■実践成果：

少人数指導や、チームティーチングを単元や場面に取り入れた学習を実践する中で、生徒一人ひとりの実態に則したきめ細かな指導が実現できた。また、2年生の「動物のくらしとなかま」や3年生の「地球と宇宙」の単元などでは、視聴覚機器やIT技術を活用し、授業を行なうことにより、生徒一人ひとりの意欲の向上に役立った。

今後、各教室でのパソコンを活用した指導方法の開発・実践を通して、教科の特性を活かしたよりよい指導計画を作成し、理科好きな生徒、理科を得意と思える生徒をひとりでも多くしていきたい。

■実践ポイント：

生徒が体験的に学びとれるような教材により、身近な自然の姿を、より深く考えることができるようにすることが狙いである。さらに、地域の自然の姿から学んだことを共有する活動を通じて、豊かな心を育み、調和のとれた発達や主体的に生きていく上で必要な資質、能力の基礎を培うことにより、生徒一人ひとりの学力の向上や読解力の向上を図った。